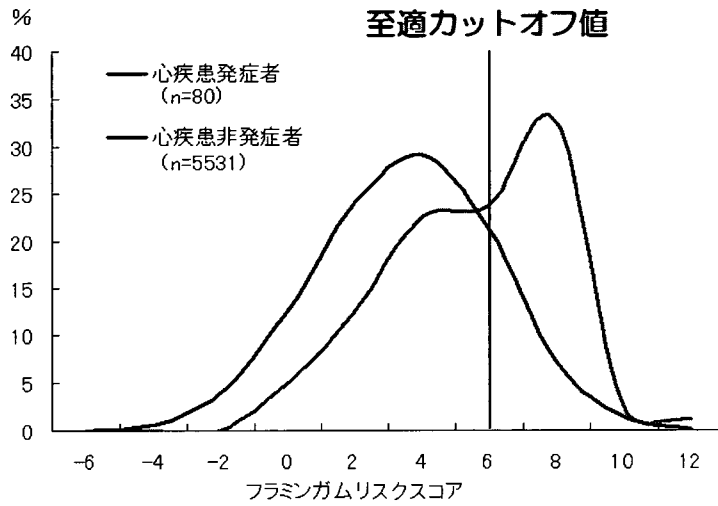


表1 点数表(文献2より)

Risk Factor	Risk Points	
	Men	Women
Age, y		
<34	-1	-9
35-39	0	-4
40-44	1	0
45-49	2	3
50-54	3	6
55-59	4	7
60-64	5	8
65-69	6	8
70-74	7	8
Total cholesterol, mg/dL		
<160	-3	-2
169-199	0	0
200-239	1	1
240-279	2	2
≥280	3	3
HDL cholesterol, mg/dL		
<35	2	5
35-44	1	2
45-49	0	1
50-59	0	0
≥60	-2	-3
Systolic blood pressure, mm Hg		
<120	0	-3
120-129	0	0
130-139	1	1
140-159	2	2
>160	3	3
Diabetes		
No	0	0
Yes	2	4
Smoker		
No	0	0
Yes	2	2
Adding up the points		
Age	_____	
Cholesterol	_____	
HDL-C	_____	
Blood pressure	_____	
Diabetes	_____	
Smoker	_____	
Total points	_____	

図 1

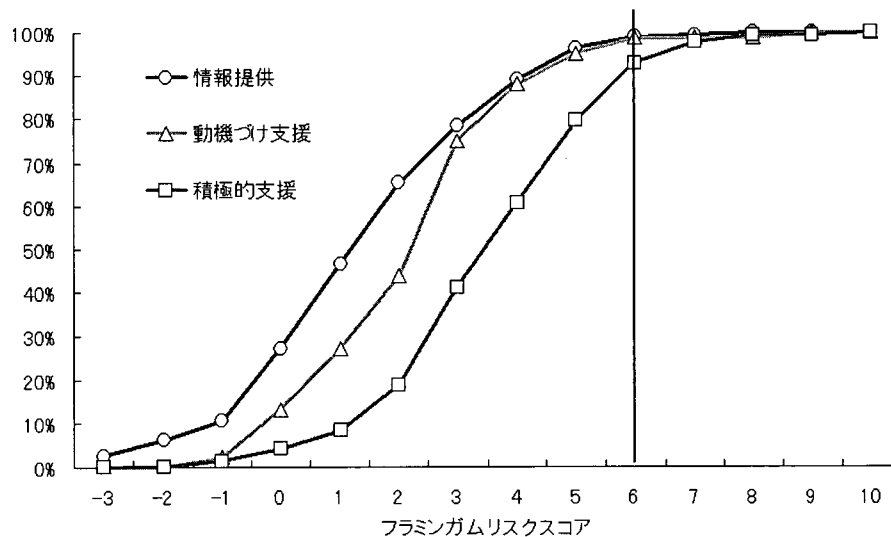
フラミンガムリスクスコアと7年以内 心疾患発症の関係：職域男性コホート



(Hypertension Research 2001)

図 2

フラミンガムリスクスコアの累積分布



E. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

⑤日本糖尿病学会による血圧管理基準を考慮した場合の現状の疫学的検討

- 学会管理基準と受診勧奨基準の整合 -

聖マリアンナ医科大学予防医学教室

須賀 万智、吉田 勝美

研究要旨：血圧と LDL コレステロールを取りあげ、専門学会の管理基準と受診勧奨の判断基準の整合について検討した。学会管理基準から糖尿病と高血圧ともに治療すべき者のうち、男性では 46.5% (8279 名/17800 名)、女性では 45.5% (2734 名/6010 名) が受診勧奨対象にならなかった。また、学会管理基準から糖尿病と高 LDL コレステロール血症ともに治療すべき者のうち、男性では 41.8% (2746 名/6564 名)、で女性は 35.3% (1411 名/3999 名) が受診勧奨対象にならなかった。

A. 研究目的

平成 20 年よりメタボリックシンドロームに注目した健康診査・保健指導が開始される。健診結果から対象者を階層化し、3 段階の保健指導－「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」を提供する。ただし、一定の数値を超える者は、医師の指示をあおぐため、医療機関を受診するように指導される。

受診勧奨の判断基準は『標準的な健診・保健指導プログラム』[1]に具体的数値として示されている。近年、専門学会の管理基準は危険因子の重複の状況を考慮した層別の数値を提唱することが一般的であるが、受診勧奨の判断基準はあくまで単独の項目の評価にすぎない。本研究では、血圧と LDL コレステロールを取りあげ、専門学会の管理基準と受診勧奨の判断基準の整合について検討した。

B. 研究方法

財団法人予防医学事業中央会の 23 都府県支部の 2001 年度定期健診データベースから、性、年齢、BMI、空腹時血糖、血圧を得られた 40～74 歳の男女 785998 名を対象とした。

・血圧に関する分析

『標準的な健診・保健指導プログラム』[1]によれば、受診勧奨基準は

140/90mmHgである。それに対して、『科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン』[2]によれば、血圧の管理基準は糖尿病の有無により異なり、一般患者で140/90mmHg、糖尿病患者で130/80mmHgである。785998名に各基準をあてはめ、学会管理基準から要治療でありながら受診勧奨基準を用いたときに対象から除外されてしまう者の割合を計算した。

・LDL コレステロールに関する分析

『標準的な健診・保健指導プログラム』[1]によれば、受診勧奨基準は140mg/dlである。それに対して、『科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン』[2]によれば、血圧の管理基準は糖尿病の有無により異なり、一般患者で140mg/dl、糖尿病患者で120mg/dlである。785998名のうちLDLコレステロールを得られた402328名に各基準をあてはめ、学会管理基準から要治療でありながら受診勧奨基準を用いたときに対象から除外されてしまう者の割合を計算した。

C. 研究結果

・血圧に関する分析

学会管理基準から糖尿病と高血圧ともに治療すべき者のうち、男性では46.5%（8279名/17800名）、女性では45.5%（2734名/6010名）が受診勧奨基準対象にならなかった。

・LDL コレステロールに関する分析

学会管理基準から糖尿病と高LDLコレステロール血症ともに治療すべき者のうち、男性では41.8%（2746名/6564名）、女性では35.3%（1411名/3999名）が受診勧奨対象にならなかった。

D. 考察

診療ガイドラインは過去の研究の系統的レビューにより作成され、科学的根拠に基づくものである。受診勧奨は保健と医療をつなぐゲートであると考えれば、受診勧奨の判断基準は実際の医療に矛盾しないように設定すべきと考えられた。

参考文献

[1] 厚生労働省健康局. 標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）.
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html>

[2] 日本糖尿病学会. 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン, 南江堂, 2007.

E.研究発表

1.論文発表 なし

1. 学会発表 第81回日本産業衛生学会(予定)

⑥健診のアウトカムとして病休日数に与える健診成績の疫学的検討

- 健診有所見と病気休業の関係 -

聖マリアンナ医科大学予防医学教室

須賀 万智、吉田 勝美

研究要旨:定期健診を4年連続で受診した40~55歳男女のうち、初年に病気で休業していない11266名において3年間の健診有所見(肥満、高血圧、高血糖、高脂血、高尿酸、肝障害、不眠、疲労感、うつ)の頻度と病気休業(年8日以上)の頻度の関係をしらべた。男性では、高血圧、高尿酸、肝障害、疲労感、うつ、女性では、不眠、うつで有意な関係をみとめた。

A.研究目的

平成20年よりメタボリックシンドロームに注目した健康診査・保健指導が開始される。事業の評価の重要性が強調されており、医療保険者はストラクチャー(構造)、プロセス(過程)、アウトプット(事業実施量)、アウトカム(結果)を検討する。

アウトカムは事業の効果を表わし、おもな指標として有病率や医療費などが挙げられる。さらに、職域に特有な問題で、病気休業による労働力損失なども重要な尺度である。本研究では、健診有所見と病気休業の関係について検討した。

B.研究方法

某事務系事業所の定期健診受診者のうち、1991~1998年に4年連続で受診した40~55歳男女のうち、初年に病気で休業していない11266名を対象とした。

健診有所見は、肥満、高血圧、高血糖、高脂血、高尿酸、肝障害、不眠、疲労感、うつを取りあげ、各項目の有所見が3年間のうち1年以下である者と2年以上である者に分けた。病気休業は、年8日以上)の病気休業が3年間のうち1年以下である者と2年以上である者に分けた。そして、3年間の健診有所見の頻度と病気休業の頻度の関係を χ^2 検定でしらべた。

C.研究結果

表1は3年間の健診有所見の頻度と病気休業の頻度の関係である。男性では、高血圧、高尿酸、肝障害、疲労感、うつ、女性では、不眠、うつで有意な関係をみと

めた。

D. 考察

健診有所見と病気休業は経年的にみても有意な関係を見とめ、病気休業は被保険者のアウトカム指標として検討する価値があると考えられた。

参考文献

なし

E. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

表 1 3年間の健診有所見の頻度と病気休業の頻度の関係

	3年間の 有所見の 頻度	男性		女性	
		3年間の病休の頻度		3年間の病休の頻度	
		0-1回	2回以上	0-1回	2回以上
BMI \geq 25	0-1回	6490 99.2%	53 0.8%	1217 97.7%	29 2.3%
	2回以上	2349 99.4%	15 0.6%	238 97.1%	7 2.9%
血圧 \geq 140/90mmHg	0-1回	5834 99.3%	41 * 0.7%	1261 97.5%	32 2.5%
	2回以上	1873 98.8%	23 1.2%	115 98.3%	2 1.7%
血糖 \geq 110mg/dl またはHbA1c \geq 5.9%	0-1回	7683 99.2%	60 0.8%	1451 97.6%	35 2.4%
	2回以上	939 98.9%	10 1.1%	41 97.6%	1 2.4%
総コレステロール \geq 220mg/dl または中性脂肪 \geq 150mg/dl	0-1回	3813 99.2%	32 0.8%	974 98.1%	19 1.9%
	2回以上	3561 99.0%	35 1.0%	273 96.8%	9 3.2%
尿酸 \geq 7.0mg/dl	0-1回	6794 99.3%	47 *** 0.7%	1515 97.9%	39 2.1%
	2回以上	1425 98.5%	21 1.5%	8 88.9%	1 11.1%
AST \geq 40IU またはALT \geq 40IU または γ GT \geq 60IU	0-1回	5092 99.4%	33 * 0.6%	1377 97.9%	30 2.1%
	2回以上	3015 98.9%	35 1.1%	75 97.4%	2 2.6%
睡眠時間 $<$ 6時間	0-1回	5137 99.1%	49 0.9%	628 97.5%	16 2.5%
	2回以上	2540 99.3%	19 0.7%	580 98.0%	12 2.0%
不眠	0-1回	8737 99.3%	63 0.7%	1336 98.1%	26 *** 1.9%
	2回以上	268 98.5%	4 1.5%	63 91.3%	6 8.7%
疲労	0-1回	8311 99.4%	53 ** 0.6%	1077 98.8%	13 *** 1.2%
	2回以上	392 98.0%	8 2.0%	171 94.5%	10 5.5%
うつ	0-1回	6897 99.5%	38 *** 0.5%	1007 98.1%	19 1.9%
	2回以上	1163 98.5%	18 1.5%	237 96.7%	8 3.3%

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05

添付資料 1

研究課題 「①健診事業で取り扱われる項目に関する共通コードの開発」の研究結果資料

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
身長	●					●										
体重	●					●										
BMI	●					●					●					
標準体重	●					●	●									
肥満度	●					●					●					
体脂肪量	●					●										
体脂肪率	●					●	●				●					
胸囲	●					●										
腹囲	●					●										
ウェスト・ヒップ比	●					●					●					
皮下脂肪厚	●					●		▲		●	▲					
骨密度	●					●	●			●	●	▲				
体温	●					●				▲						
視力	●					●				●	▲					
眼圧	●					●	●			●	●					
色覚			●										●			
瞳孔径	●					●				▲	▲					
対光反射			●										●			
聴力	●					●	●			●	●					
		●					■			●	■		■	■	■	
			●				■			●	■		●			
最大血圧	●					●		▲		▲	●					
最小血圧	●					●		▲		▲	●					
尿糖	●					●				●	●					
		●								▲	●		●	●	●	
負荷後尿糖	●					●				●	●					
		●								●	●		●	●	●	
尿蛋白	●					●				●	●					
		●								▲	●		●	●	●	
尿中微量アルブミン	●					●				●	●					
尿ウロビリノーゲン	●					●				●	●					
		●								▲	●		●	●	●	
尿潜血	●									▲	●		●	●	●	
尿混濁	●									▲	●		●	●	●	
			●										●			
尿ケトン体		●								▲	●		●	●	●	
尿ビリルビン		●								▲	●		●	●	●	
尿白血球		●								▲	●		●	●	●	
尿亜硝酸塩		●								▲	●		●	●	●	
尿アミラーゼ	●					●				▲	●					
尿中NAG	●					●				▲	●					
尿中クレアチニン	●					●				▲	●					
尿中クレアチン	●					●				▲	●					
尿中NAG/尿中クレアチニン比	●					●				▲	●					
尿pH	●					●				▲	●					
尿比重	●					●				▲	●					
尿沈渣	●					●				▲	●					
		●								▲	●		▲	▲	▲	
PSP排泄試験	●					●				●	●					
		●						▲	▲				●	●	●	
便潜血			●					▲	▲				●			
便中ヘモグロビン	●					●			▲			●				
便虫卵		●						▲					●	●	●	
			●					▲					●			
					●			▲								
血液型		●									●		●	●	●	

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
血液状態			●								●		●			
血液状態・凝固		●			●								●	●	●	
血液状態・溶血		●											●	●	●	
血液状態・乳び		●											●	●	●	
総コレステロール	●					●					▲	●				
HDLコレステロール	●					●					▲	●				
LDLコレステロール	●					●					▲	●				
中性脂肪	●					●					▲	●				
エステル化コレステロール	●					●					▲	●				
エステル比	●					●					▲	●				
βリポ蛋白	●					●					▲	●				
総コレステロール/HDLコレステロール比	●					●					▲	●				
過酸化脂質	●					●					▲	●				
遊離脂肪酸	●					●					▲	●				
リン脂質	●					●					▲	●				
動脈硬化指数	●					●					▲	●				
アポ蛋白AⅠ	●					●					▲	●				
アポ蛋白AⅡ	●					●					▲	●				
アポ蛋白B	●					●					▲	●				
アポ蛋白B/アポ蛋白AⅠ比	●					●					▲	●				
アポ蛋白CⅡ	●					●					▲	●				
アポ蛋白CⅢ	●					●					▲	●				
アポ蛋白E	●					●					▲	●				
GOT・AST	●					●					▲	●				
GPT・ALT	●					●					▲	●				
γ-GTP	●					●					▲	●				
LDH	●					●					▲	●				
アルカリ性ホスファターゼ	●					●					▲	●				
ロイシンアミノペプチダーゼ	●					●					▲	●				
シスチンアミノペプチダーゼ	●					●					▲	●				
コリンエステラーゼ	●					●					▲	●				
アミラーゼ	●					●					▲	●				
リパーゼ	●					●					▲	●				
クレアチニンフォスホキナーゼ	●					●					▲	●				
HBD	●					●					▲	●				
アルドラーゼ	●					●					▲	●				
モノアミンオキシダーゼ	●					●					▲	●				
ZTT	●					●					▲	●				
T TT	●					●					▲	●				
総ビリルビン	●					●					▲	●				
直接ビリルビン	●					●					▲	●				
間接ビリルビン	●					●					▲	●				
黄疸指数	●					●					▲	●				
総胆汁酸	●					●					▲	●				
血清アデノシンデアミナーゼ	●					●					▲	●				
アンモニア	●					●					▲	●				
総蛋白	●					●					▲	●				
アルブミン	●					●					▲	●				
アルブミングロブリン比	●					●					▲	●				
蛋白分画・A1b	●					●					▲	●				
蛋白分画・α1	●					●					▲	●				
蛋白分画・α2	●					●					▲	●				
蛋白分画・β	●					●					▲	●				
蛋白分画・γ	●					●					▲	●				

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
心筋トロポニンT	●					●					▲	●				
HA抗体	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
			●				▲							●		
HBs抗原	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
HBs抗体	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
HBe抗原	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
HBe抗体	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
HBC抗体	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
HCV抗体	▲					▲	▲							●	●	●
		●					▲							●		
			●				▲							●		
IgG	●					●					▲	●				
IgA	●					●					▲	●				
IgM	●					●					▲	●				
IgD	●					●					▲	●				
非特異的IgE	●					●					▲	●				
T3	●					●					▲	●				
FT3	●					●					▲	●				
T4	●					●					▲	●				
FT4	●					●					▲	●				
TSH	●					●					▲	●				
BUN	●					●					▲	●				
クレアチニン	●					●					▲	●				
尿酸	●					●					▲	●				
クレアチン	●					●					▲	●				
ナトリウム	●					●					▲	●				
カリウム	●					●					▲	●				
クロール	●					●					▲	●				
カルシウム	●					●					▲	●				
無機リン	●					●					▲	●				
マグネシウム	●					●					▲	●				
赤血球数	●					●					▲	●				
血色素量	●					●					▲	●				
ヘマトクリット	●					●					▲	●				
白血球数	●					●					▲	●				
平均赤血球容積	●					●					▲	●				
平均赤血球ヘモグロビン量	●					●					▲	●				
平均赤血球ヘモグロビン濃度	●					●					▲	●				
血小板数	●					●					▲	●				
網赤血球数	●					●					▲	●				
血液比重	●					●					▲	●				
白血球像	●					●					▲	●				
赤血球像	●					●					▲	●				
血清鉄	●					●					▲	●				
フェリチン	●					●					▲	●				
TIBC	●					●					▲	●				
UIBC	●					●					▲	●				
赤血球沈降速度測定	●					●					●	●				

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
CRP測定	●					●					▲	●				
リウマチ因子測定	●	●				●					▲	●		●	●	
ASO測定	●	●				●					▲	●		●	●	
ASK測定	●	●				●					▲	●		●	●	
縮方法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
ガラス板法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
凝集法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
RPR法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
VDRL法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
TPHA法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
FTA-ABS法	▲	●				▲					▲	▲		●	●	●
食後時間	◆					●										
空腹時血糖	●					●					▲	●				
随時血糖	●					●					▲	●				
負荷後血糖値	●					●					▲	●				
HbA1	●					●					▲	●				
HbA1c	●					●					▲	●				
フルクトサミン	●					●					▲	●				
シアル酸	●					●					▲	●				
出血時間	●					●					▲	●				
プロトロンビン時間	●					●					▲	●				
部分トロンボプラスチン時間	●					●					▲	●				
活性化部分トロンボプラスチン時間	●					●					▲	●				
フィブリノーゲン	●					●					▲	●				
トロンボテスト	●					●					▲	●				
ヘパラスチンテスト	●					●					▲	●				
アンチトロンビンⅢ	●					●					▲	●				
FDP	●					●					▲	●				
D-Dダイマー	●					●					▲	●				
α-フェトプロテイン	●					●					▲	●				
CA19-9	●	●				●					▲	●		●	●	●
CEA	●					●					▲	●				
CA125	●					●					▲	●				
SCC	●					●					▲	●				
エラスターゼⅠ	●					●					▲	●				
ペプシノーゲンⅠ	●					●					▲	●				
ペプシノーゲンⅡ	●					●					▲	●				
ペプシノーゲンⅠ/Ⅱ比	●					●					▲	●				
ペプシノーゲン判定			●								▲	●				
組織ポリペプチド抗原	●					●					▲	●		●		
前立腺特異抗原	●					●					▲	●				
前立腺酸性フォスファターゼ	●					●	●				▲	●				
酸性フォスファターゼ	●					●					▲	●				
努力性肺活量	●					●					▲	●				
肺活量	●					●					▲	●				
予想肺活量	●					●					▲	●				
%肺活量	●					●					▲	●				

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
1秒量	●					●					▲	●				
1秒率	●					●					▲	●				
最大中間呼気流量	●					●					▲	●				
最大呼気流量	●					●					▲	●				
最大換気量	●					●					▲	●				
ピークフロー	●					●					▲	●				
75% FVC	●					●					▲	●				
50% FVC	●					●					▲	●				
25% FVC	●					●					▲	●				
V50/V25	●					●					▲	●				
心横径	●					●					▲	●				
胸郭径	●					●					▲	●				
心胸郭比	●					●					▲	●				
胸部X線所見				●				●						●		
胸部X線判定			●		●									▲		
胃部X線所見				●				●						●		
胃部X線判定			●		●									▲		
大腸X線所見				●				●						●		
大腸X線判定			●		●									▲		
心拍数	●					●					▲	●				
RR間隔	●					●					▲	●				
PR間隔	●					●					▲	●				
PQ間隔	●					●					▲	●				
QRS間隔	●					●					▲	●				
QT間隔	●					●					▲	●				
QTc間隔	●					●					▲	●				
QRS軸	●					●					▲	●				
SV1	●					●					▲	●				
RV5	●					●					▲	●				
RV6	●					●					▲	●				
SV1+RV5(RV6)	●					●					▲	●				
心電図所見				●				●			▲			●		
心電図判定			●		●									▲		
眼底所見				●				●	●					●		
眼底判定			●		●				▲					▲		
超音波検査所見				●				●	▲	●				●		
超音波検査判定			●		●				▲	▲				▲		
上部内視鏡所見				●				●		▲				●		
上部内視鏡判定			●		●									▲		
下部内視鏡所見				●				●		▲				●		
下部内視鏡判定			●		●									▲		
膣スメア細胞診所見				●				●						●		
膣スメア細胞診判定			●		●									▲		
子宮細胞診所見				●				●		▲				●		
子宮細胞診判定			●		●									▲		
喀痰細胞診所見				●				●						●		
喀痰細胞診判定			●		●									▲		
直腸診所見				●				●						●		

付帯情報項目	データ種別					単位	検査方法	検査回数	検査側	検査部位	検査条件	基準範囲	区分数	基準区分	区分範囲	備考
	数値	記号	用語	日付	テキスト											
標準検査項目																
直腸診判定			●		●								●			
乳房診所見					●			●	●				▲			
乳房診判定			●										●			
マンモグラフィー所見					●			●	●				▲			
マンモグラフィー判定			●										●			
総合判定					●								▲			
握力	●					●		▲	●							
背筋力	●					●		▲								
上体おこし	●					●		▲								
垂直とび	●					●		▲								
反復横とび	●					●		▲								
立位体前屈	●					●		▲								
閉眼片足立ち	●					●		▲								
全身反応時間	●					●		▲								
最大酸素摂取量	●					●										
タビソグ	●					●			●	●						
血中鉛	●					●						●				
血中鉛・分布	●					●						●				
尿中アミノ酸	●					●						●				
尿中アミノ酸・分布	●					●						●				
赤血球中アミノ酸	●					●						●				
赤血球中アミノ酸・分布	●					●						●				
尿中尿酸	●					●						●				
尿中尿酸・分布	●					●						●				
尿中尿酸	●					●						●				
尿中尿酸・分布	●					●						●				
尿中Nアミノ酸	●					●						●				
尿中Nアミノ酸・分布	●					●						●				
尿中マンニトール	●					●						●				
尿中マンニトール・分布	●					●						●				
尿中トリカルボン酸	●					●						●				
尿中トリカルボン酸・分布	●					●						●				
尿中総三塩化物	●					●						●				
尿中総三塩化物・分布	●					●						●				
尿中2,5-ヘキサミン	●					●						●				
尿中2,6-ヘキサミン	●					●						●				
管理区分			●										●			
動脈血pH	●					●						●				
動脈血酸素分圧	●					●						●				
動脈血炭酸ガス分圧	●					●						●				
血漿HCO ₃ ⁻	●					●						●				
Base excess	●					●						●				
動脈血酸素飽和度	●					●						●				

添付資料 2

研究課題 「④階層化対象者に対する優先順位の疫学的検討」の研究資料

メタボリックシンドローム健診の階層化ルール(確定版)

目的:
メタボリックシンドローム健診の階層化ルールの妥当性について
フラミンガムリスクスコアの関係から検討する。

対象:

2005年度の定期健診のデータ 144,102名

→ 腹囲が得られた 1692名(1事業所)

→ 40～60歳男性 702名

→ 腹囲、BMI、血圧、中性脂肪、HDL、空腹時血糖/HbA1c、喫煙が得られた 681名

方法:

1. 腹囲とBMIのカテゴリー別にフラミンガムリスクスコアの分布を調べる
2. 保健指導レベル別にフラミンガムリスクスコアの分布を調べる

結果:

1. 高スコア者(6点以上)の26.1%は腹囲<85cmである
高スコア者(6点以上)の28.3%は情報提供として判定される

↓
階層化ルールで腹囲の条件を必須としているため、
フラミンガムリスクスコアで高リスクとみなされる者が
階層化のルールで高リスクとみなされない可能性がある

2. 積極的支援のうちスコア6点以上は20.3%である
動機づけ支援のうちスコア6点以上は4.8%である

↓
積極的支援かつスコア6点以上は全体の4.9%である
動機づけ支援のかつスコア6点以上は全体の0.7%である

↓
個別面談支援の対象の優先順位の基準として
フラミンガムリスクスコアの高スコア者(6点以上)が
具体的かつ実用的なものになる可能性がある

表1 保健指導レベルの分布

年齢	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	治療中
全体	363	84	143	91
40-49	53.3%	12.3%	21.0%	13.4%
	308	68	115	56
50-60	56.3%	12.4%	21.0%	10.2%
	55	16	28	35
	41.0%	11.9%	20.9%	26.1%

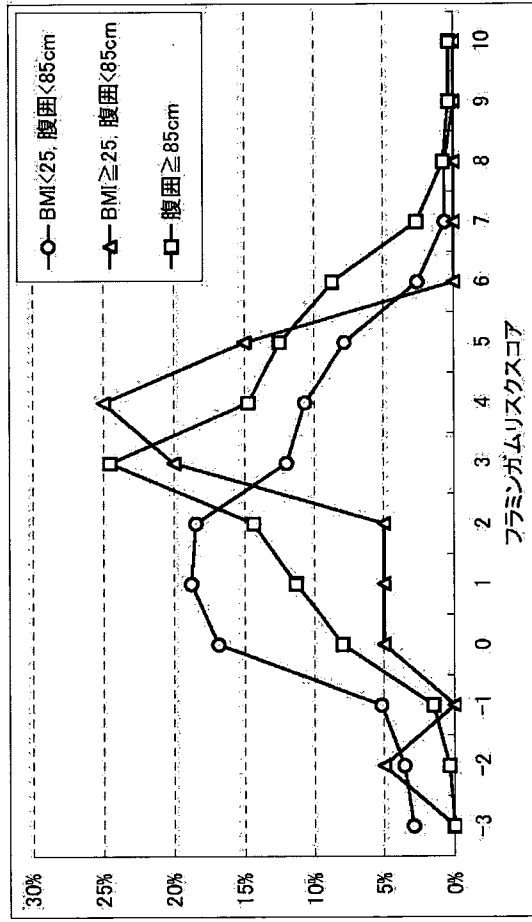
以前の解析で、医療機関受診対象(治療中+受診勧奨)は42.9%にのぼるが、
実際のでないかと判断され、今回の解析で、治療中のみを対象から除外した

表2 フラミンガムリスクスコアの分布(治療中を除いた590名)

スコア	Step1			全体	Step3		
	BMI<25, 腹囲<85cm	BMI≥25, 腹囲<85cm	腹囲≥85cm		情報提供	動機づけ支援	積極的支援
-3	9	1.5%	2.9%	9	1.5%	0	0.0%
-2	13	2.2%	3.6%	13	2.2%	0	0.0%
-1	20	3.4%	5.2%	20	3.4%	2	0.0%
0	74	12.5%	16.8%	74	12.5%	9	2.4%
1	89	15.1%	18.8%	89	15.1%	16	4.4%
2	96	16.3%	18.4%	96	16.3%	61	16.8%
3	106	18.0%	12.0%	106	18.0%	71	19.6%
4	77	13.1%	10.7%	77	13.1%	14	18.5%
5	60	10.2%	7.8%	60	10.2%	48	13.2%
6	31	5.3%	2.6%	31	5.3%	38	10.5%
7	9	1.5%	0.6%	9	1.5%	27	7.4%
8	4	0.7%	0.6%	4	0.7%	9	2.5%
9	1	0.2%	0.0%	1	0.2%	2	0.6%
10	1	0.2%	0.0%	1	0.2%	2	0.6%
						0	0.0%
						0	0.0%

フラミンガムリスクスコア≡年齢+喫煙+糖尿病+血圧+LDLコレステロール+HDL

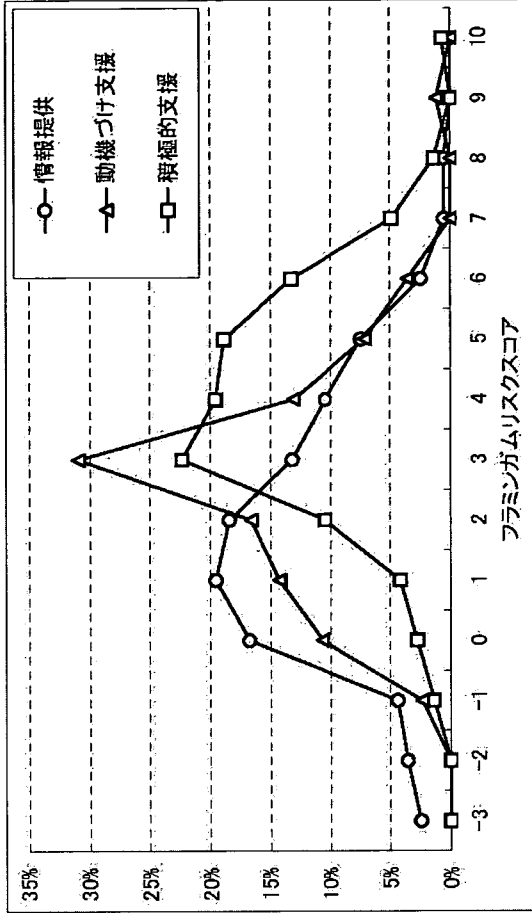
は高スコアであるが、低リスクとみなされてしまう 26.1% (高スコア者のうち)



スコア	全体			Step3			
	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	
-3	9	1.5%	2.5%	9	0.0%	0	0.0%
-2	13	2.2%	3.6%	13	0.0%	0	0.0%
-1	20	3.4%	4.4%	16	2.4%	2	1.4%
0	74	12.5%	16.8%	61	10.7%	4	2.8%
1	89	15.1%	19.6%	71	14.3%	6	4.2%
2	96	16.3%	18.5%	67	16.7%	15	10.5%
3	106	18.0%	13.2%	48	31.0%	32	22.4%
4	77	13.1%	10.5%	38	13.1%	28	19.6%
5	60	10.2%	7.4%	27	7.1%	27	18.9%
6	31	5.3%	2.5%	9	3.6%	19	13.3%
7	9	1.5%	0.6%	2	0.0%	7	4.9%
8	4	0.7%	0.6%	2	0.0%	2	1.4%
9	1	0.2%	0.0%	0	1.2%	0	0.0%
10	1	0.2%	0.0%	0	0.0%	1	0.7%

フラミンガムリスクスコア≡年齢+喫煙+糖尿病+血圧+LDLコレステロール+HDL

は高スコアであるが、低リスクとみなされてしまう 28.3% (高スコア者のうち)



添付資料 3

研究課題 「⑥健診のアウトカムとして病休日数に与える健診成績の疫学的検討」

の研究結果の参考資料

【データの構造】

	1	2	3	4
	病休1 2年目 データ による	病休2 3年目 データ による	病休3 4年目 データ による	
年齢 治療 所見1		所見2	所見3	

注1) 所見は健診時点の情報
病休は健診前1年間の情報

注2) 初年度すでに治療中であるものは除外すべき